

外部検証委員会（資産形成分野）次第

日時 平成 29 年 11 月 21 日（火）午後 3 時 30 分から
場所 益子町役場休憩室

1 開会

2 出席者紹介

3 配布資料の確認

4 案件

（1）概要説明（教育長・産業建設部長）

（2）施策ごとの検証（シート毎ではなく、各施策・複数課のシートに渡し質疑）

（3）その他

5 閉会

外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式 2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後 10 日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（資産形成分野）議事録

日時	平成 29 年 11 月 21 日(火) 15:30～16:35	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	大岡委員、添谷委員、日渡委員（欠席：濱田委員）
	職員	岡教育長、大内産業建設部長、大関建設課長、高浜観光商工課長、桜井生涯学習課長
	事務局	吉永係長、岩崎
配布資料	次第、推進状況総括シート、推進シート	

発言者	発言要旨
教育長 産業建設部長	1. 開会 2. 出席者紹介 3. 配布資料確認 4. 案件 (1) 概要説明 第 2 四半期・本年度総括シートにより説明
委員	(2) 施策ごとの検証 ○P.56 施策 1 歴史や文化財の活用 文化庁には 2 回足を運んでいるが、他の自治体でも何回かは足を運んでいるのか。
生涯学習課長	自治体によって異なるが、それぞれ 1 回または数回、足を運んでいるようだ。アドバイスをいただき、申請内容に修正を加える必要がある。
委員	社会科副読本は 2 月に完成予定ということで、3 月にはましこ検定が実施されるが、検定前に参考書としての頒布は可能か。
教育長	中学校用副読本の「のびゆく益子」は 2 月から 3 月、小学校用の「わたしたちの益子町」は 3 月に完成予定である。完成次第、中学校用の副読本はましこ検定の参考書として一般販売する予定である。価格は 1,000 円程度を予定している。
委員	○P.57 施策 2 風土や風景、風習の継承 世間遺産の動画撮影の業者は決まったか。
生涯学習課長	総務課で実施している事業だが、業者は決定し、11 月末から撮影を予定しているとのことである。

委員	世間遺産は、申請後に現地確認を行い認定している点が良いと思うが、一般に広めていくためには現地に案内板を立てたり、道案内をするなどをして場所を伝える必要があると思うが、広報活動や整備面ではいかがか。
生涯学習課長	現在、周知用看板の設置及びホームページの掲載を予定している。将来的にはマップを作成し、駐車場の表示を含めて道案内が出来よう検討している。
産業建設部長	<u>○P.58 施策1 ましこのランドスケープデザインの作成</u> 平成31年度作成を目指して進めている。ランドスケープデザインそのものが大きく、漠然としているため、枠組みをどうとらえるか、最終の形をどうするかという段階である。
委員	那須烏山市と軽井沢町はすでに作成してあるか。
建設課長	軽井沢町ではランドスケープデザインではなく、グランドデザインと表現している。町でもグランドデザインに近いもの、地域に適した空間やデザインを形成するものをイメージしているが、具体的にどういったものを表現できていないため、すでに作成した先進地を視察し情報収集に努めている段階である。具体的行動としては、道路整備を行う際にも地域に適したものを作るというものなどである。景観条例の制定も準備段階である。屋外広告物についても、県の条例をもとに益子町に適した条例を整備できるよう努めていきたい。
委員	豆田橋とはどのあたりか。
建設課長	上大羽で県道から旧大羽小学校に入る橋であるが、老朽化が進んでいる。
委員	益子公園線の始点と終点について知りたい。
建設課長	日下田紺屋さん前の交差点から高館山を經由し、地藏院までの道路である。
委員	観光ボランティアで西明寺に行く際に、普門院から西明寺境内までの間に桜の木が道路上にはみ出しており、観光バスがあたってしまうという指摘があった。どこに相談すればよいかわからず困っている。
建設課長	県道であり、もしくは西明寺のものの可能性もあるため確認したい。
委員	<u>○P.59 施策2 特性をいかした地域創生</u> 環境課自然環境係、生涯学習課文化係が補助事業として、小宅地区の自治会や円道寺池の花の会など森林の多面的事業をやっているが、計画書作成や実績報告書の作成指導は環境課が、また、環境整備や技術的な指導を生涯学習課でやってくれて

	おりありがたいと地元が喜んでいる。ぜひ伝えてほしい。
産業建設部長	地域活動に関しては、各地域の方々が主体的に活動されているため、助かっている。また、推進シートにある、サイクリングロードについては南側は大体完成しており、景観が良いためイベントで使用したり、道の駅のレンタサイクル利用時に周知したりしている。継続して周知したい。
建設課長	北側の一部の整備が残っており、今後県と協議を行う予定である。道路づくりは歩行者や自転車に関わる部分を優先し、また観光面に配慮して実施している。
産業建設部長	<u>○P.60 施策1 町のブランドイメージの確立</u> 指標が魅力度ランキング200位以内となっているが、昨年度よりも落ちてしまい、昨年が377位に対し、今年が486位であった。いくつかの調査項目があり、総合ではなく純粋に魅力度を調査したものである。自治体の魅力を問うため、自治体の認知度とも関連していると考えられる。全国に居住する約3万人がいくつかの自治体に対し回答(一つの自治体の回答者は475～675人)する仕組みである。益子町では、食品以外想起率が高く全国5位(前回13位)、益子焼のネームバリューが大きいことが分かった。また、食べ物の想起率は805位(898位)と低い。
委員	1,000ある自治体のうち400位程度であれば良いと考えても良いのでは。
産業建設部長	県内では日光市は高いが、フラワーパークがある足利市が近年ランキングを上げている。
委員	KPIで魅力度ランキング300位とあるが、これはなくしたらいいか。順位を上げることにとらわれるのではなく、各事業を実施していくうちに結果的に上がっていくことにつながると考える。また順位が上がったからといって事業が成功しているとは言い難いのではないか。
委員	ましこを愛する人を増やすについて、今回の陶器市の観光ボランティアを陶芸メッセにて芳星高校の生徒と共に実施した経験で、町出身者は1名であったが、大変やる気のある子が多く、地域でのボランティア活動の分母を増やすきっかけになると感じた。
教育長	今年度のましこ検定は高校生や中学生の受験者の増加を狙っている。
産業建設部長	検定受験を通して文化財や町の特徴など町自体をもう一度見つめ直し、愛着が大きくなってくればよい。

観光商工課長	今回の１００回陶器市で益子塾と芳星高校の陶器市でのボランティア活動に対して、感謝状を贈呈した。運営面でも助かっているが、両者の活動はお互いにとって良い効果があると感じている。 (４) その他 外部検証・意見シートは今月中目安に、２週間以内にご提出をお願いいたします。 5 閉会
--------	--